

## 議 事 録

		作成	馬淵さち子	承認	
会議名	一宮パブリック・サービス・アカデミー（一宮自治研究会）第6回会合				
日 時	平成 19 年 5 月 13 日（日） 13:30～17:00	場所	一宮町公民館 生活研修室		
出席者	司会：藤乗 一由・馬淵 昌也 参加者計：24 名				
配布資料	①馬淵さち子・福岡庸一氏作成「茂原市の経年的財政変動」 ②渡部明美氏作成「第二回長生郡市合併協議会傍聴記」 ③藤乗一由氏作成「長生郡市合併詳報 no. 1（案）」 ④戸張七重氏作成「合併に関する住民アンケート（案）」 <その他>会員の方が自主的に配布くださった資料 ⑤金田昭氏提供「長生郡市の明治・昭和の『大合併』（合併の軌跡から学ぶもの）」（旧合併協議時〔第一ステージ〕作成） ⑥同上「長生郡市の新旧地図」 ⑦林一雄氏提供「平成 17 年に行われた一宮町合併に関するアンケート結果」 ⑧同上「大網白里町 HP より 地域審議会・地域自治区・合併特例区の比較」 ⑨林一雄氏作成「市の名称は歴史を学んでから」				
内 容				備 考	
<議事> ①合併に関する住民アンケートについて ②その他  <報告事項> ①第二回合併協議会の報告 ②茂原市の経年的財政変動（決算カードをもとにして）  <報告事項> ①茂原市の経年的財政変動－報告・馬淵 昌也 茂原市の財政変動について、決算カードをもとにグラフ化し、類似団体との比較を行った。その結果、「財政力指数」については類似団体より比較的良い数値となっているが、「実質公債費比率」は 19%を超え、平成 18 年の地方債協議制導入以降も、起債に際しては上位団体からの許可が必要であることがわかった。また、「ヤミ起債」とも称される「債務負担行為額」については、類似市町村の約 3 倍の借金をかかえ、逆に「積立金」に関しては、他の類似市町村の 1 / 20 にも満たないことがわかった。その結果、「実質的将来財政負担額比率」は、50～100%が健全だとされるのに対して、2005 年度で 284%にも上ることがわかった。今後、茂原土地開発公社などの深刻な財政問題を抱えて部分に関しても、財政分析を行っていく。				資料①参照	
(質問・意見など) (回答は全て馬淵昌也)					

・茂原市に関しては都市整備計画事業の負債などについても新聞報道があり、実際の負債は1000億にも達するといわれているが、そういった隠れた部分の借金については、どうですか？（斎藤満氏）

↓

今年度から、地方自治体財政に関する指標に新しいものが導入され、今まで表に出て来なかった隠れた借金も指標に表れてくるようになり、茂原市には国の指導が入るようになる可能性もある。今後、土地開発公社の財政分析も時系列的に行い報告する。

## ②第二回合併協議会報告（渡部明美氏・馬淵さち子・戸張七重氏等）

発言者から出された第二回合併協議会の問題点・注目点は以下のとおり。

- 1) 渡部明美氏が協議会に提出した「傍聴者の感想文用紙を用意してほしい」旨の要望は、聞き入れられ今回から感想文用紙が用意されるようになった。
- 2) しかし、第一回協議会で委員の議決を経た結果（用紙を用意しない）が、協議会会長の言葉だけで翻ったのは、協議会の意向を無視するやり方であり、問題がある。
- 3) 協議会の最中に、「ダラダラと協議していると進まない。ここは協議する場ではなく、議決を採るところだ」などという主旨の発言が委員のなかからあったことに驚きを感じた。
- 4) 新市名の公募方法で、応募数を茂原市18,000、郡部18,000（各町村3,000×6）としたところは、対等合併ということからするとおかしいのではないか。

※第二回合併協議会では、当会で傍聴者アンケートを行った。その結果の概略を渡部明美氏が報告した。アンケートは当会で責任を持って集計し、近日中に当会HPなどで公開する。

（意見など）

- ・次回の協議項目の「新市基本計画」は非常に大切なので、注視する必要がある。（林一雄氏）
  - ・住民投票条例をつくるべきだ。（三谷宏氏）
  - ・「どうしても合併はしなくてはいけないのだ」と話す住民の方がいる。そういう方に会合にきていただき、合併しなければいけない理由を話してもらったらどうだろうか。（山下素子氏）
- などの活発な意見が出た。

<報告事項>

### ①合併に関する住民アンケートについて

5月6日に行われた運営委員会で、合併に関して住民アンケートを行うこと、アンケートとともに、合併に関する情報などをわかりやすく記載した「合併ニュース」のようなものを配布することを決定した。このアンケートと「合併ニュース」の素案を参加者の方に提示して皆さんのご意見を伺った。

（意見・疑問など）

資料②参照

資料③④参照

・アンケート項目のなかに、回答者が答えにくい設問がある。具体的な例などを挙げて答えやすくするべきだ。また、合併の情報をどこから入手しているかなどの項目は必要ないだろう。(睦沢町・行政一成氏)

・アンケートを行うことでどれほどの効果があるか疑問だ。

・住民の方々の興味を喚起するために、アンケートをすること自体に意味がある。是非やるべきだ。

※アンケートの項目などを更に吟味してなるべく早く住民アンケートを行うことにした。また、合併ニュースの内容も更にわかりやすくすることとした。内容は運営委員会で決定し、配布・回収などで会員の方々に協力をいただくこととした。

## ②その他

会員の金田昭氏・林一雄氏より、長生郡市7市町村の合併の歴史や町村名の変遷などについて、資料を参考にお話をいただいた。

※議論のなかで、当会は町づくりを中心する会なのに、合併問題ばかり取り上げるのはおかしいのではないかとのご意見があった(斉藤満氏)。次回の会からは、合併問題だけでなく多方面にわたる町づくりの問題も議題にしていくこととした。(例：里山再生・鳥獣保護区制定などの自然環境保護問題、経験・見識を有したご高齢の方に、より主体的に町づくりに参画していただく方策、様々な面で生活上ご不自由を感じておられる方のために住民サイドからお手伝いできること等)

## <次回の会合の日程>

日時：6月10日(日)

詳細については後日、連絡

資料(その他)

①②③④参照

以上